

第11回ユネスコスクール全国大会／ESD研究会 分科会（ワークショップ／テーマ別交流研修会）の参加申込・出席に関するご案内

別紙案内のとおり、令和元（2019）年11月30日（土）に、福山市立大学で第11回ユネスコスクール全国大会／ESD研究会を開催いたします。ESDの推進拠点であるユネスコスクールの加盟校は1,100校を超えました。実践の深化と拡充を目指すため、ご参加いただき、全国加盟校の皆様方との情報や課題解決共有の機会としていただきたく、ご案内申し上げます。下記要領をご確認の上、お申し込みください。

【分科会（ワークショップ／テーマ別交流研修会）への参加希望について】

今大会は、下記3つを柱とし分科会を行います。一テーマの末の①②③が該当します。

- ①学習指導要領（ESDで育む資質・能力、態度・行動の変容などを軸に）
- ②学校経営（カリキュラム・マネジメントホール・スクール・アプローチ、組織運営などを軸に）
- ③地域とともにある学校とユネスコスクール

参加登録に関しましては、下記大会サイトから、申込フォームに出席希望（1～12）の分科会番号を第3希望まで必ずご記入ください。希望人数を調整し、ご出席いただく分科会やその詳細については、大会2週間前を目途にお送りする「参加票」にてお知らせいたします。

※希望分科会は、ワークショップ、テーマ別交流研修会どちらかに偏らず選択してください。例えばワークショップから2つ、交流研修会から1つなどのように選んでください。

■分科会のテーマ

[ワークショップ]

- 第1分科会 ESDで育む資質・能力を考える——学習指導要領の趣旨を生かして** ①
(ファシリテーター：東京都多摩市立連光寺小学校長 棚橋 乾)
持続可能な社会を構築する人材が備えるべき資質・能力は何か、ESDでどのように育てるか、学習指導要領との関連も含めて探る。
- 第2分科会 SDGs教材の開発をどう進めるか——児童生徒の行動変容を視点に** ①
(ファシリテーター：(公財)ユネスコ・アジア文化センター)
児童生徒の変容を促すSDGsに関する書籍・教材の生かし方について、実践共有や参加者同士の交流を通して深める。
- 第3分科会 ESDを軸としたカリキュラムマネジメント——学習指導要領の趣旨を生かしたホールスクールアプローチ** ②
(ファシリテーター：日本ESD学会副会長 手島利夫)
学校の教育活動全体で、教科・領域を横断的に取り組むESDの在り方、カリキュラムマネジメントの在り方を学ぶ。
- 第4分科会 ESDの視点で教員の働き方改革を実現する——組織改善を視点としたホールスクールアプローチ** ②
(ファシリテーター：横浜市立日枝小学校校長 住田昌治)
ESDの趣旨、狙いを生かした取り組み、学校経営で働き方改革を実現する、その在り方を探る。
- 第5分科会 持続可能なESDのための教員の資質能力の育成——学校全体で取り組むリーダー教師の育成** ②
(コーディネーター：(公財)五井平和財団／ESD日本ユース コンファレンス)

ESDの実践をリードする教師をどのように育成し、実践を定着させていくかを探る

第6分科会 ESDとSDGsで学校種間の連携をどのように進めるか ③

——地域を巻き込んだ連携の推進（ファシリテーター：静岡大学教育学部教授 梅澤収）

地域の学校として校種間の連携をどのように進めるか、ESDとSDGsを軸にした実践の在り方を学ぶ

[テーマ別交流研修会] ※事例発表をもとに、研究協議を行います

第7分科会 環境問題を生徒が『ジブンゴト』とする取り組み ①

（発表：東京都多摩市立青陵中学校長 千葉正法）

環境問題など社会的課題に、生徒が「ジブンゴト」として取り組む実践の在り方を探る。

第8分科会 平和のための学び ESD for SDGs ～持続可能な社会づくりに向けて育む力～ ①

（コーディネーター：大牟田市教育委員会教育長 安田昌則）

持続可能な社会づくりに向け、どのような力を育むか、「SDGsアシストプロジェクト」の小中高の実践をもとに、ユネスコ憲章・ESD・SDGsを視野に学び合いを深める。

第9分科会 ESDで進める特別支援教育——多様性を視点に学校全体で取り組む特別支援教育 ②

（司会：中部大学教授 宮川秀俊）

多様性を視点に学校全体で取り組む特別支援教育の在り方を、事例報告をもとに研究協議する。

第10分科会 ユネスコスクールが行う海外連携 ③

——海外の事例から地域の課題を学ぶ（発表：岡山市教育委員会）

ブルガリアのユネスコスクールとの連携について事例発表し、そこから見えてきた地域の課題について考える。

第11分科会 命を守る教育とESD ③

——災害体験を生かし、地域とともに命を守る行動力を育てる（発表：三重県桑名市立城南小学校）

「伊勢湾台風」から60年。その体験を受け継ぎ、これからの自分たちにできることを考えるESDとしての防災学習について、報告をもとに研究協議する。

第12分科会 地域社会とともに取り組むESDとSDGsの活動の在り方とは ③

（コーディネーター：福山市教育委員会）

地域社会にある学校として、ESDとSDGsにどのように取り組んでいくか、事例をもとに研究協議する。

大会ウェブサイトよりお申し込みください。 <http://www.jp-esd.org/conference.html>

〈大会内容に関する問合せ〉

NPO法人 日本持続発展教育推進フォーラム

ユネスコスクール全国大会事務局 担当・三枝、高木

〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館5階

Tel:03-3545-3651 E-mail: info@jp-esd.org

◇大会の趣旨及びESD・ユネスコスクールについての問合せ

文部科学省国際統括官付（日本ユネスコ国内委員会事務局）ユネスコ振興推進係

Tel:03-5253-4111（内線2602） E-mail: jpnatcom@mext.go.jp